

《計算書類に対する注記》

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

なお、平成18年以降は30万円以上で1年以上使用見込みのものを固定資産に計上しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理方式により処理しています。

2. 事業別損益の状況

別紙のとおり

3. 固定資産の増減内訳

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末帳簿価格
建物付属設備・ガス給湯設備 (H20.3.設置)	1,581,946	1,340,953	240,993
車両運搬具 (H14.9.購入)	988,470	988,469	1
車両運搬具 (H20.6.寄付)	880,000	879,999	1
什器備品・車載放送設備一式 (H14.9.購入)	707,175	707,174	1
什器備品 (H28.3.購入) 第1プール防犯カメラ一式	524,880	342,221	182,659
什器備品 (H28.3.購入) 第2プール防犯カメラ一式	495,720	323,209	172,511
構築物 石段並列型手摺 (H20.4設置)	346,500	255,341	91,159
合 計	5,524,691	4,837,366	687,325

4. 当期正味財産増加額の内訳

当期収支差額	1,662,209
商品	△ 21,597
貯蔵品	△ 7,938
貸倒損失	△ 40,206
減価償却費	△ 310,049
当期正味財産増加額	1,282,419

5. 借入金、保証債務、担保提供資産はありません。